

# 『第三次守谷市総合計画』に関する 市民アンケート調査結果（概要）

# 1.調査の概要

## 1.1 調査の目的

「第三次守谷市総合計画」検討の基礎資料として、各施策の現在の満足度、今後の重要度やまちづくりについての考え方などの実態を把握することを目的とする。

## 1.2 調査の概要

調査対象：守谷市内にお住まいの18歳以上の方の中から3,000人を無作為抽出

調査方法：郵送配布回収方式

調査時期：令和2年10月～11月

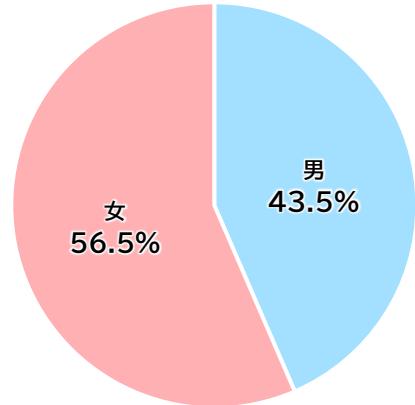
調査内容：守谷市の住みよさ、目指すべき姿、各施策の現在の満足度・今後の重要度 など

回答者数：1,401票（回答率46.7%）

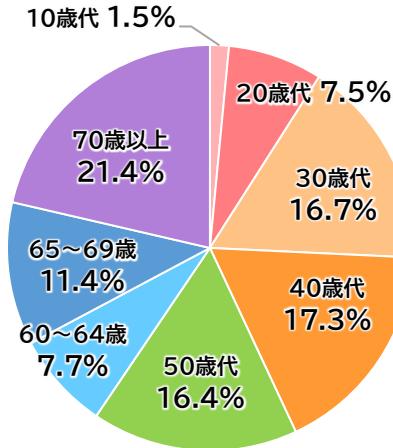
## 2.調査の結果

### 2.1 回答者の属性

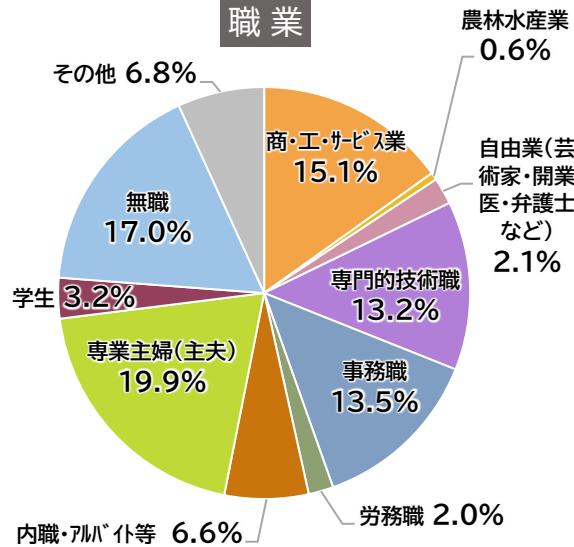
性別



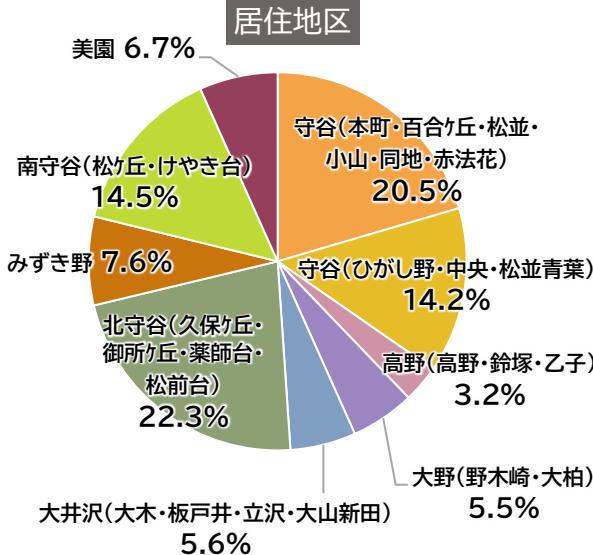
年齢



職業



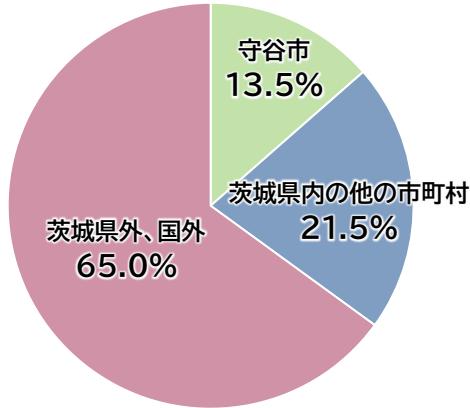
居住地区



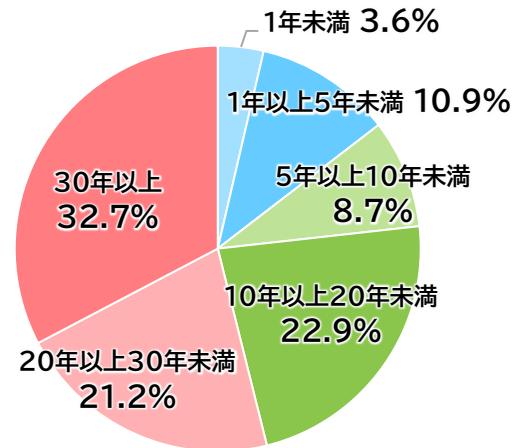
## 2.調査の結果

### 2.1 回答者の属性

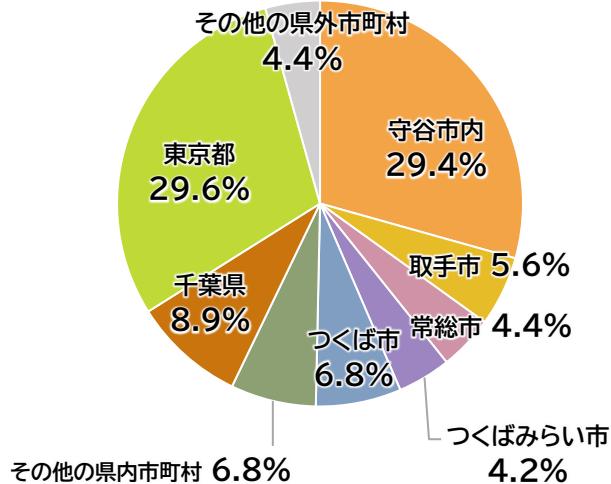
出生地



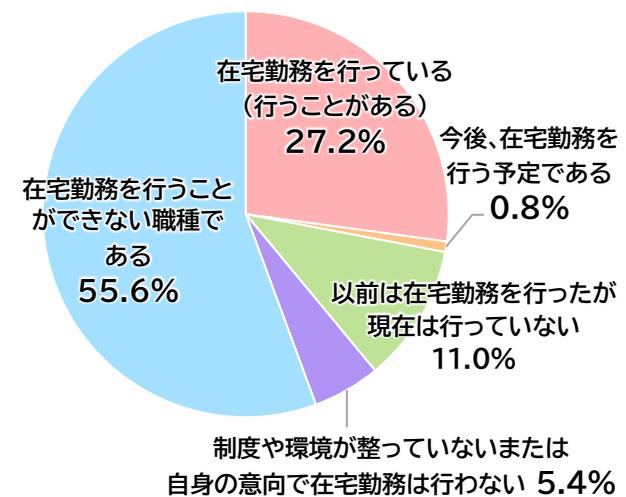
居住年数



勤務先・通学先



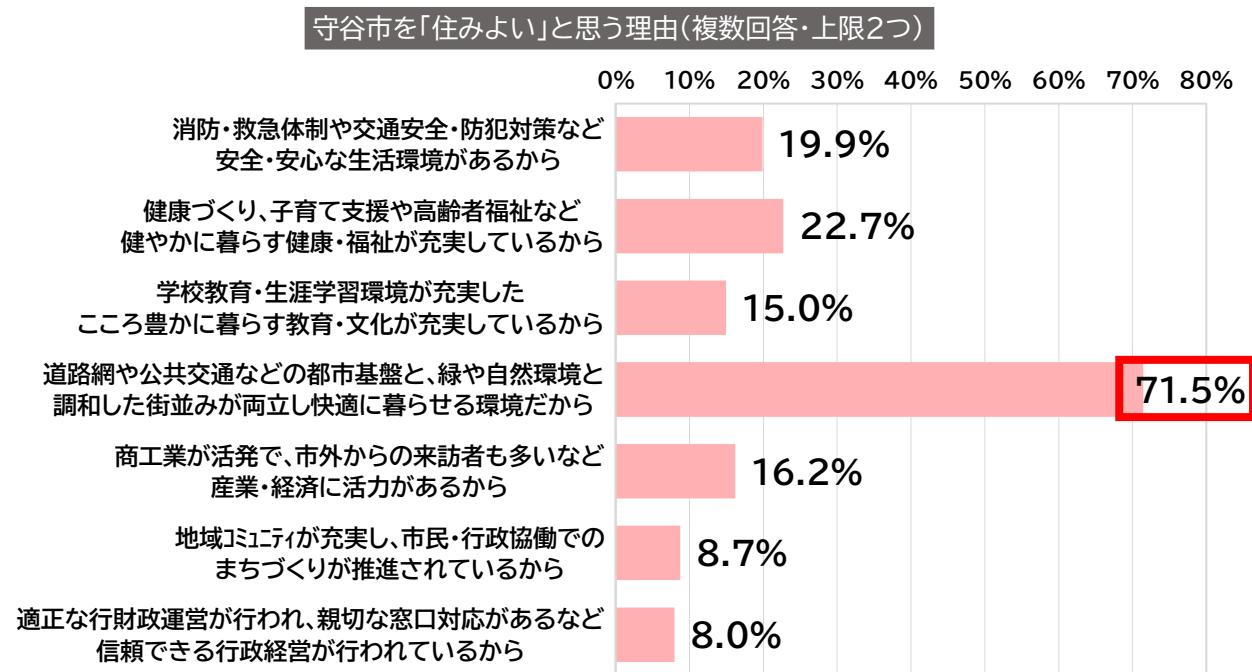
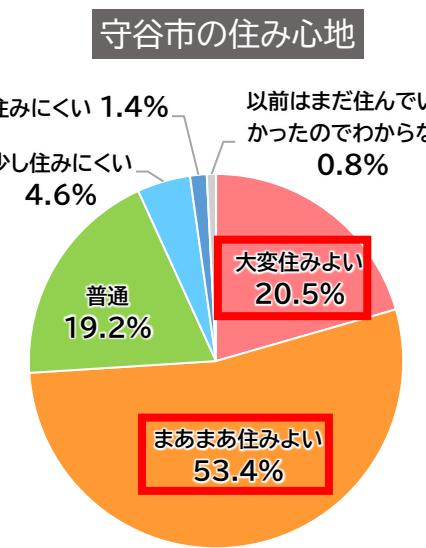
守谷市内での在宅勤務



## 2.調査の結果

### 2.2 守谷市の住みやすさ (1) 守谷市の住みやすさとその理由

- ・約7割が守谷市が「住みよい」と回答している。
- ・住みよいと思った理由として、約7割が「道路網や公共交通などの都市基盤と、緑や自然環境と調和した街並みが両立し快適に暮らせる環境だから」を挙げている。

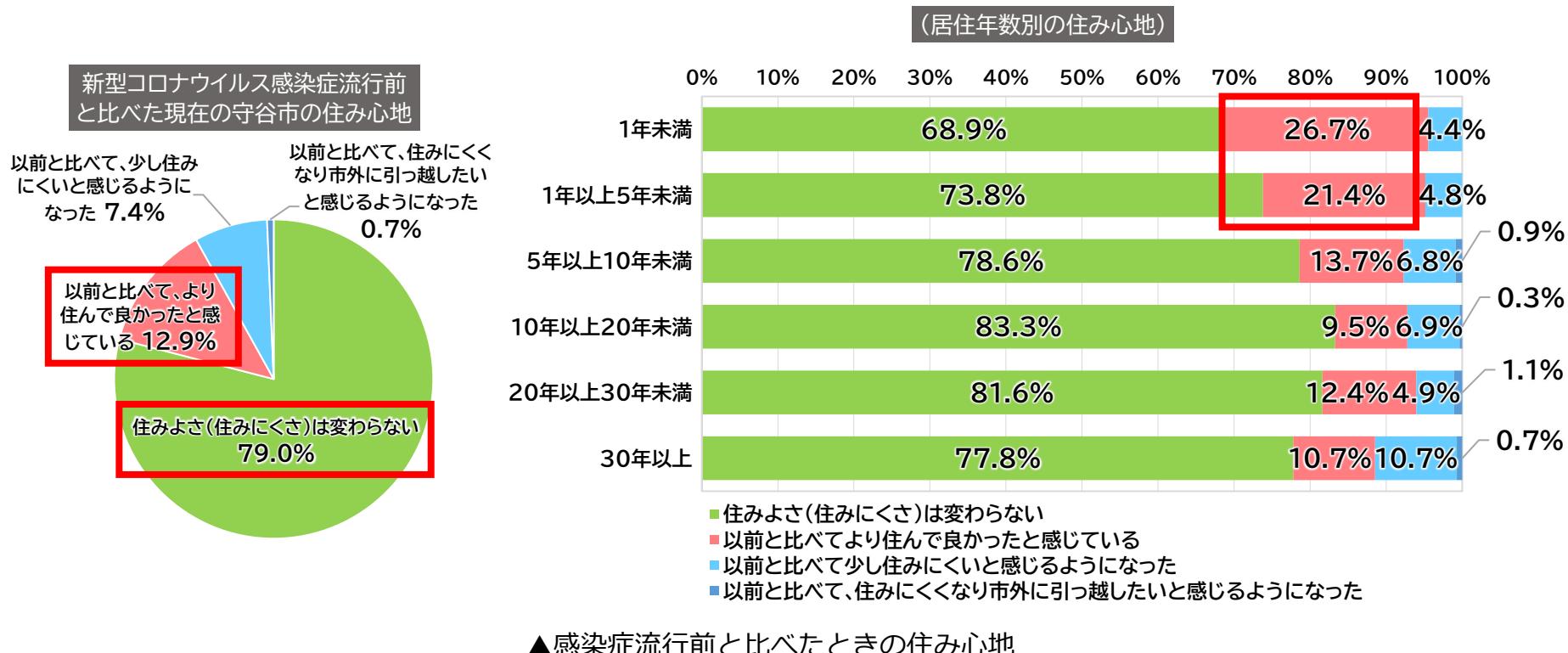


▲守谷市の住みやすさとその理由

## 2.調査の結果

### 2.2 守谷市の住みやすさ (2) 感染症流行前と比べたときの現在の状況

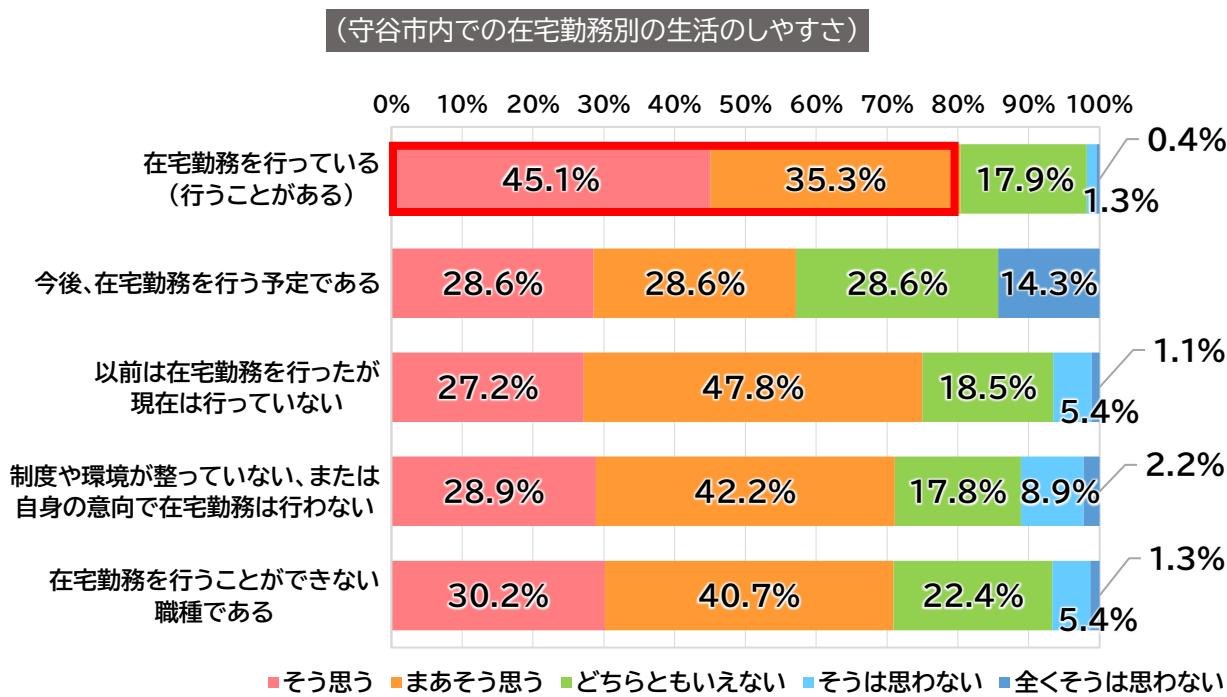
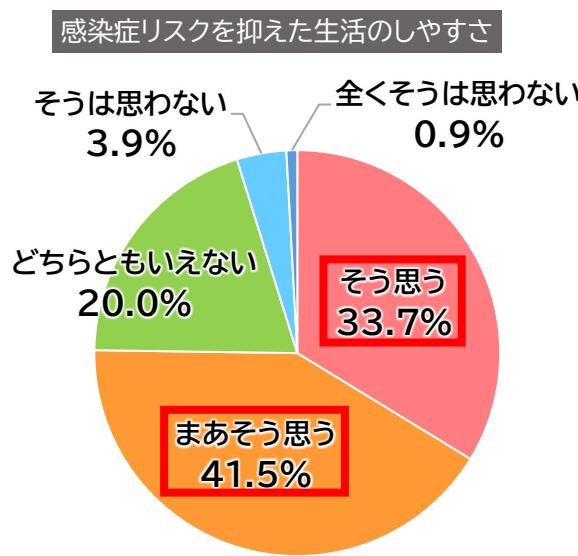
- ・新型コロナウイルス感染症流行前（概ね2020年2月以前）と比べて、約8割は「住みよさ（住みにくさ）は変わらない」、約1割が「以前と比べてより住んで良かったと感じている」と回答している。
- ・居住年齢別でみると、5年未満の市民が「以前と比べて、より住んで良かったと感じている」と回答する割合が高くなっている。



## 2.調査の結果

### 2.2 守谷市の住みやすさ (3) 感染症リスクを抑えた暮らし

- ・約8割が「都心部と比較して人口密度の低い地域である守谷市は、感染症リスクを抑えた生活がしやすい」と回答している。
- ・特に、在宅勤務を行っている人ほど、感染症リスクを抑えた生活のしやすさを感じている割合が高くなっている。

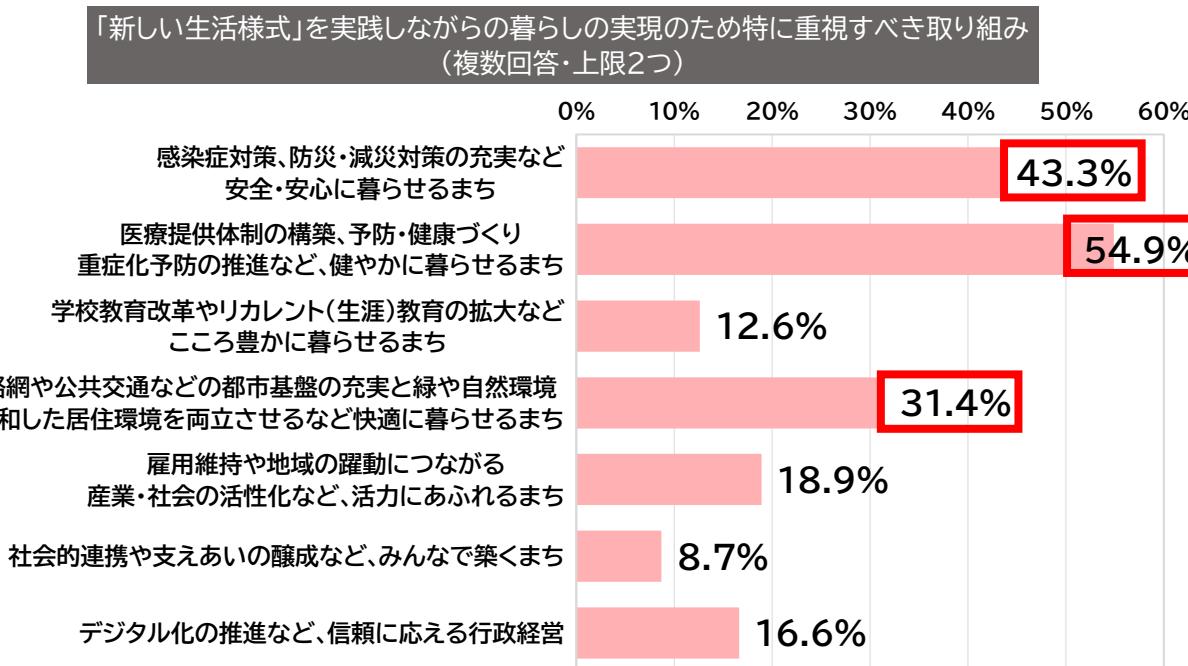
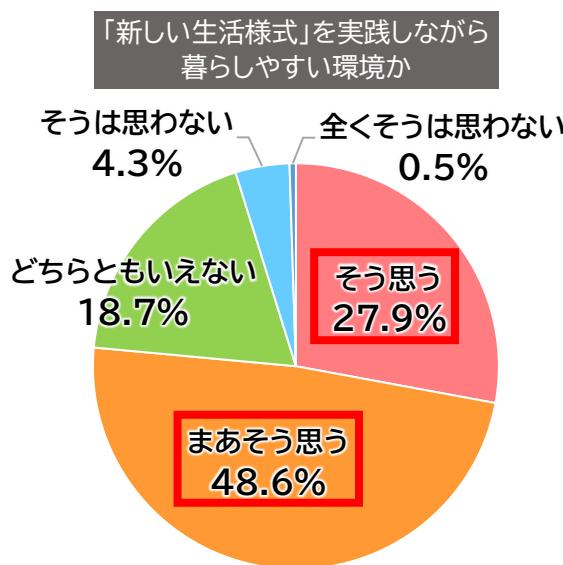


▲感染症リスクを抑えた暮らし

## 2.調査の結果

### 2.3 新しい生活様式を実践しながらの暮らし (1) 重視すべき取り組み

- ・約8割が「都心部との程よい距離感にある守谷市は、新しい生活様式を実践しながらの暮らしがしやすい環境」と回答している。
- ・「新しい生活様式」を実践しながらの暮らしを実現していくために、特に重視すべき取り組みとしては、「医療提供体制の構築、予防・健康づくり、重症化予防の推進など健やかに暮らせるまち」が5割以上、「感染症対策、防災・減災対策の充実など安全・安心に暮らせるまち」が4割以上、「道路網や公共交通などの都市基盤の充実と緑や自然環境と調和した居住環境を両立させるなど快適に暮らせるまち」が3割以上となっている。

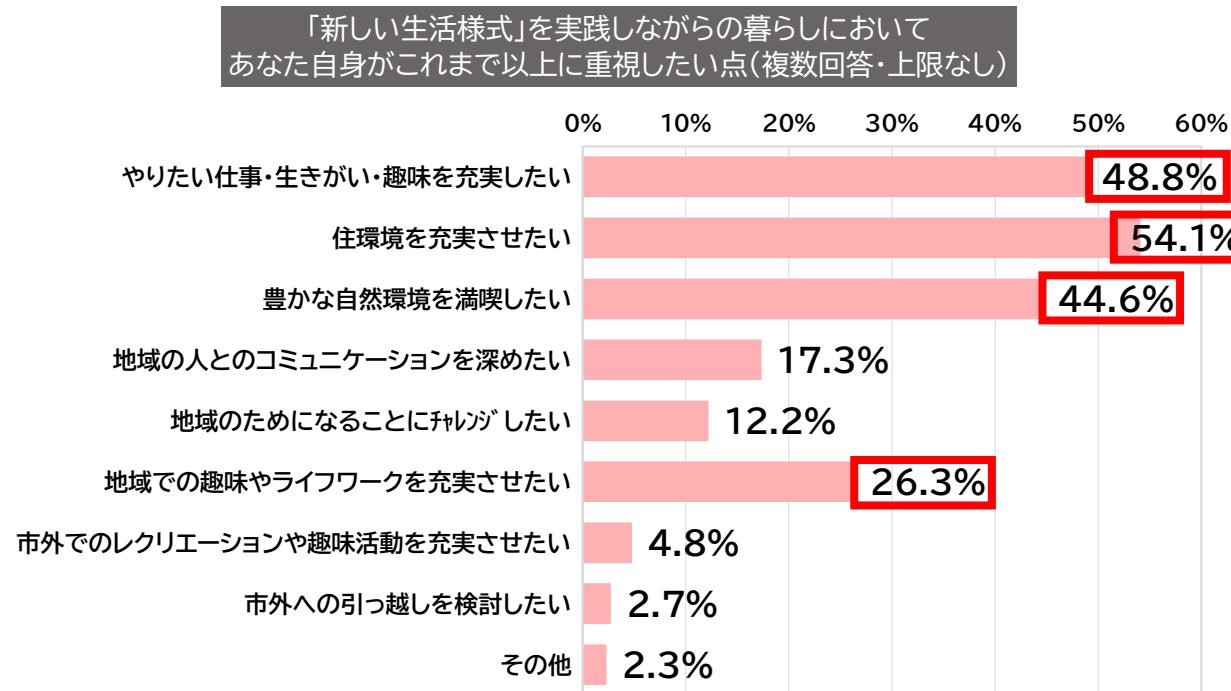


▲新しい生活様式を実践しながらの暮らしで重視すべき取り組み

## 2.調査の結果

### 2.3 新しい生活様式を実践しながらの暮らし (2) 重視したい点

- 「新しい生活様式」を実践しながらの暮らしにおいて、あなた自身が守谷市で暮らす上でこれまで以上に重視したい点では、**5割以上**が「住環境を充実させたい」、約5割が「やりたい仕事・生きがい・趣味を充実したい」、4割以上が「豊かな自然環境を満喫したい」、約3割が「地域での趣味やライフワークを充実させたい」と回答している。



▲新しい生活様式を実践しながらの暮らしで重視したい点

## 2. 調査の結果

#### 2.4 各施策の現在の満足度・今後の重要度

- ・満足度の高い評価項目としては、「循環型社会の形成」「緑を生かした景観の形成」などが挙げられる
  - ・一方で満足度の低い評価項目としては、「調和のとれた市域の形成」「防犯対策の推進」などが挙げられる。
  - ・重要度が高いと市民が感じている項目として、「防犯対策の推進」「道路網・公共交通体系の整備」などが挙げられる。

